
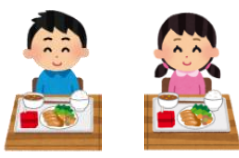



学校生活対応マニュアル ～ 1日の流れ ～

朝	<p>○欠席連絡 * 欠席連絡を受けた職員→ 熱は何度か？ いつからか？ 咳、のどの痛み、だるい、息苦しい等、症状を具体的に聴取し、記録する。また、医療機関の受診報告を求める。 → 担任、養護教諭、管理職に報告する。</p> <p>* 放課後:担任→欠席者に連絡し、体調を確認し、受診結果を聴取し、記録する。</p>
登校	<p>○できる限りマスク着用で登校する。 ○教室に入る前に手指消毒を行う。 ○健康観察カードを提出する。 ◆その他提出物は、係が集めず、一人一人が提出場所に提出する。その場合、他の児童との接触を避け、他の提出物に触らないようにするとともに、他の児童と接触しないようにする。</p> 
朝の会	<p>○健康観察カードを確認する 【検温及び風邪症状の確認】 * 未提出や印漏れの場合：各字級で検温及び風邪症状の確認 (教室の体温計で検温 37℃以上の場合保健室で再度検温 37.5℃以上で早退) * 健康観察後、体調不良者は、無理をさせず、早退の連絡をする。 * マスクがない児童には、ハンカチ等での咳エチケットを徹底させる。 * 風邪症状等があつて登校した場合：保健室へ（管理職に相談）保護者に連絡し早退 ◆朝の歌は、鑑賞のみとし、機器等の操作は教員が行う。</p>
授業 (特別教室利用 時も含む)	<p>○机（隣同士）や椅子を離す。 ○換気：教室のドアや窓を閉めきりにせず常時少し開けておく。【2方向以上】 ○対話の際は、できる限り1m以上離れる。教員等の個別指導、机間指導は児童とできるだけ距離を置き。 ◆特別教室におけるテーブル席においては隣の児童とできる限り間隔を置き、体育用具・実験器具・調理機具・製作用具等を使用する場合は、事前・事後に手洗いを入念に行う。 ◆鉛筆や消しゴム等の児童間の貸し借りは行わない。</p>
休み時間	<p>換気：教室のドアを開けて空気の入替えを行う。【対角線上に開けると効果的】 対話の際は、できる限り1m以上離れ、遊びにおいては接触を避ける遊びとする。 トイレ、外遊び後はうがいをし、ていねいに手を洗う（30秒以上）。</p>
給食	<p>活動前に、ていねいな手洗い（30秒以上）及び手指消毒を行う。 当番は、清潔な白衣・帽子を着用する。 体調がすぐれない場合には当番を交代する。 自分で配膳する。 給食は全員が前向きで食べる。 大きな声で話さない。</p> 
昼休み	<p>換気：教室のドアを開けて空気の入替えを行う。【対角線上に開けると効果的】 対話の際は、できる限り1m以上離れ、遊びにおいては接触を避ける遊びとする。 トイレ・外遊び後はうがいをし、ていねいに手を洗う（30秒以上）。</p>
清掃	<p>清掃時は黙ってそうじをする。 清掃後はていねいに手を洗う（30秒以上）。</p> 
帰りの会	<p>換気：教室のドアや窓を閉めきりにせず、常時少し開けておく【2方向以上】 健康チェックカードの返却(一人一人が担任等から受け取る)</p>

* 校内での健康観察 体調不良を訴える児童は、検温する。

⇒教頭へ報告。濃厚接触等の疑いがある場合は、市教育委員会へ報告する。

【健康観察のポイント】

①37.5℃以上の発熱（顔色が赤い・青ざめている） ②咳が出ている、息苦しい

③だるさ ④腹痛、下痢、吐き気、嘔吐

* その他

全校集会等、多人数が同じ場所に集まることは避ける。（やむなく行う場合には、管理職に相談）
手洗い・うがいは、30秒以上を基本とし、声に出してカウントするよう具体的な指導で徹底する。
基本的な生活習慣（食事・睡眠・運動）により免疫力を高める。